

# 進路通信

伊丹市立松崎中学校第3学年  
第25号

令和2年(2020年)9月3日(木)

## 明日は実力テストです

あまりプレッシャーをかけたくはないのですが、明日は第1回実力テストがあります。今回は実力テストについてもう一度説明します。

実力テストについては、進路集会でも触れましたが、進路指導で使用するデータの一つです。

どのように使用するかと言いますと、入試本番で何点取れるかの目安にします。実力テストも入試も、テスト範囲が今まで学習した所すべてという共通点がありますので、入試本番で何点取れるかの目安となるわけです(といっても、今回も次回も実力テストの範囲は配布されますが……)。

公立高校を受検した卒業生で、開示請求という制度を使って学力検査の得点を知ったという先輩がいます。例えば、その先輩が5教科合計で250点の得点でA高校を合格したとします。その話を聞いて、じゃあ実力テストで250点取ればA高校に合格できると鵜呑みにはできません。なぜなら、入試問題と実力テストには「難易度の差」という、問題自体の難しさに差があるからです。そこで、別の方法として、その先輩が受検した過去問で何点取れるかを目安にしたほうがいいでしょう。

次に、先輩のように250点取れたとしても、合格しないこともあります。なぜなら、公立高校の場合は五段階の成績が関係するからです。4教科をがんばることが重要であると、保護者説明会でも進路集会でも説明しました。この先輩と自分との間に、特に4教科の成績で差があれば結果は異なります。

進路指導の言い訳になりますが、過去のデータと照合する関係上、決して「合格できます」とは言えません。極端な例ですが、昨年度までに比べて学力の高い生徒がその年に集まれば、急激に合格点が上昇します。現在の5学区制になり今年度で6年目を迎えますので、そう大きくは変化しないと思いますが、しっかりと学力を身につけ、少々の変化にも対応できるようにしておくことが望ましいといえます。

さて、私立高校に進学を希望している生徒は、公立志願者よりも実力テストの点数は重要といえます。なぜなら、私立高校の合格判定は、ほぼ入試の点数になります。また、合格最低点が設定されていることもあります。つまり、ひとつの教科でも設定された点数を下回れば、不合格となります。基礎基本の力をつけておくことが大切です。また、入試当日の得点が高ければ、入学金の割引などの優遇措置をする高校もあります。入試説明会などで教えてくれる高校もありますので、参加してみましょう。

明日は実力テストです。今日は各教科を見直すくらいにして、早めに就寝しましょう。おやすみなさい。



## 最近あった高校からの案内

(ここでは、最近あった高校からのオープンハイスクールなどの情報を載せません)

プリント …各生徒にプリント配布  教室 …各教室に1枚配布  配布なし …配布なし

# 市立伊丹高校

オープンハイスクール

<第1回・普通科> 10/24(土)9:00 開場 400名

<第2回・G.C、商業科> 10/31(土)9:00 開場

G.C 120名、商業科 100名

すべて、9/14(月)16:00受付開始 先着順

9月14日(月)競技大会当日の終礼後に、松崎中学校のパソコン室を開放し、市立伊丹高校のオープンハイスクールの申込みをできるようにします。パソコン操作は生徒個人で行います。

中学校のパソコンから自分で申し込みたい場合、下にある「**イチコーチケット**」を切り取り、必要事項を記入して、9月8日(火)までに学級担任に提出すること。9月9日に、利用予定人数を発表します。

かなりの人数が予想されます。保護者の方に申し込んでもらえる人は、保護者に協力してもらってください。

キ リ ト リ

## イチコーチケット

3年 組 番 氏名

行き先

市立伊丹

申込みする学科に○を書く

( ) 普通科

( ) G.C

( ) 商業科